

都市計画図における色彩の地域性

The Regional Color Traits about Urban Peanning Maps

飯島 祥二 岡山商科大学 Shoji Iijima

[1] はじめに

日本は南北に長く、ほぼ北緯25° から45° に分布している。かつ、モンスーンの影響により自然環境・気候そして気象の地域的差異は大きい。

佐藤 [1] は色彩の地域性について具体的に述べ、日本は国土の広がりから考えても、色彩の地域差が大きい国であるとしている。

街路景観の色彩に関しては地域差が認められ、色彩の地域差が気候要素との関係で説明される可能性が示されている [2]。それによると、中四国における調査により、街路景観色彩の地域差は日照率・相対湿度等の気候要素と比較的大きな相関を持つことが分かった。

本研究では、街路景観とは異なるが、全国一律に作られている都市計画図の色彩の測色をし、色彩の計画図上に見られる地域的特性を抽出することにある。

各地域の都市計画図を一覧すると、各用途区分は同系色（表-1）が使われているが、微妙に色調の差異が認められる。例えば、第一種住居専用地域の色は通常緑が使用されることになっているが、北海道の東部地域ではやや青みがかり明度は低く、関西地域では、黄色みがかった緑になっている。このような地域差は都市計画図の制作主体である各市の都市計画課・土木課の方々の色彩感覚に依るものと考えられる。このような色彩の地域性に由来した差異を、全国73都市の都市計画図を用い調査した。

[2] 調査方法

全国の73都市の都市計画図を用い、各都市の計画図の8用途区分の色をマンセル色票を用いて、測色した。高明度・彩度の色で色票の範囲を越えるものは、色票の最大値で表示した。測色は太陽光の元、色票を直接地図にあて行った。

[3] 調査結果

表-2に各用途区分別の色彩調査結果を示した。どの用途区分も高明度・低彩度で落ち着いた色使いとなっている。

第一種住居専用地域の着色（緑）は南九州で青色（BG）に近い10Gの色相が卓越し、北海道東部から東北地方太平洋側そして紀伊半島・四国南部に至る地域では5G～7.5Gのゾーンが認められた。また、5G～7.5Gのゾーンは山陰と北陸にも局部的に見られる。黄緑色の7.5GY～10GYのゾーンは近畿地方に分布する（図-1）。明度は北海道で低く、関東以西で高い。彩度は近畿で著しく高い。以下、各用途区分別に概観する。

第二種住居専用地域の着色（黄緑）は北海道・東北地方で明度が低い。

近隣商業地域の着色（薄い赤）は近畿地域で彩度が高い。

商業地域の着色（赤）は、近畿地方で紫がかった赤（5RP）が見られ特徴的である。また、北海道地域は低明度である。

工業地域の着色（青）は、彩度が北海道・関東で低い。

表-1 都市計画図における一般的な着色

用途区分	一般的着色
第一種住居専用地域	緑
第二種住居専用地域	黄緑
住居地域	黄
近隣商業地域	薄い赤
商業地域	赤
準工業地域	薄い青
工業地域	青
工業専用地域	紫

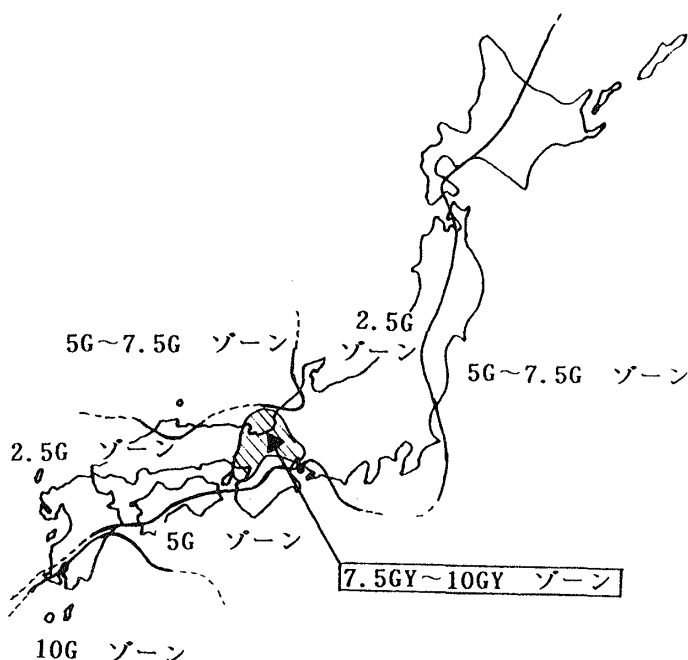
表－2 都市計画図における色彩調査結果

用途区分	最多色相	明度の平均	彩度の平均
第一種住居専用地域	2.5G	7.8	3.7
第二種住居専用地域	5GY	8.5	3.7
住居地域	5Y	9	4.6
近隣商業地域	2.5R	8.8	2.7
商業地域	5R	7.8	6.1
準工業地域	5B	8.2	1.4
工業地域	5B	8	3.6
工業専用地域	5P	7.4	2.1

[4] 考察

色彩調査の結果と各都市の気候要素・自然環境の指標との間で相関分析を行った。

相関係数の絶対値が0.4以上だったものに、第一種住居専用地域の色彩の明度と緯度との相関係数 ($R=0.436$)、第二種住居専用地域の色彩の明度と平均日照率との相関係数 ($R=0.40$) などがある。



図－1 第一種住居専用地域の着色(緑)の色相の分布

したがって、第一種住居専用地域の明度は、北へ行くほど低く暗い色になり、第二種の明度は日照時間が長い地域では高く明るい色になる。今後、分析を進めていきたい。

【都市計画図による色彩調査都市一覧】

函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、帯広市、青森市、八戸市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、会津若松市、いわき市、水戸市、宇都宮市、前橋市、熊谷市、浦和市、千葉市、東京都(千代田区)、東京都(港区)、横浜市、新潟市、高岡市、金沢市、福井市、敦賀市、甲府市、富士吉田市、長野市、松本市、岐阜市、高山市、静岡市、浜松市、名古屋市、津市、四日市市、彦根市、舞鶴市、大阪市、神戸市、姫路市、奈良市、和歌山市、鳥取市、米子市、境港市、松江市、岡山市、津山市、広島市、呉市、福山市、下関市、山口市、徳島市、高松市、丸亀市、松山市、宇和島市、高知市、北九州市、佐賀市、長崎市、佐世保市、熊本市、人吉市、大分市、宮崎市、都城市、延岡市、那覇市。

【参考文献】

- [1] 佐藤邦夫, 「風土と嗜好色」, 青娥書房, 1992.
- [2] IIJIMA, " A comparative study on the Relation between the Colour Trait in a City Landscape and it's Mesoclimate with reference to several Cities from the Pacific Area to the Sea of Japan Area in south-west Japan.", Pan Pacific Symposium on Building and Urban Environmental Conditioning in Asia District, 1995.